

観光学術学会大会発表要旨集 投稿規程

「発表要旨集」に掲載される発表要旨は、以下の規定にしたがい投稿してください。できあがりとして、観光学術学会ホームページ(<http://jsts.sc>)の要旨集見本(PDF、MS-WORD)をダウンロードして参考にして下さい。この見本の様式に沿ったものを作成し、PDFにしたものを観光学術学会ホームページ上の大会発表申込フォームから送信してください。PDFを作成する環境がない場合は印刷したものを郵送して下さい。なお、発表要旨集は元原稿がカラーであってもすべてモノクロで印刷されます。

(1) 原稿の送付

(A) PDFにしたものを大会発表申込フォームから送信する場合

原稿は下記の規定にしたがって作成し、A4サイズのPDFに変換すること。印刷、編集可能なパスワードのかかっていないPDFファイルとすること。

(B) 印刷したものを郵送する場合

原稿は下記の規定にしたがって作成し、A4判用紙に印刷する。ページ番号などは打たず、ホチキスどめしないこと。原稿は折り曲げない形で郵送する。

郵送する場合も必ず大会発表申込フォームの必要事項を記入して送信してください。なお、大会発表申込締切日が原稿必着締切となります。

【送付物】

- ① 大会発表申込フォーム送信後に送られてくる受理番号と名前
- ② 完成原稿2部

【送付先】

〒545-0011

住所 大阪市阿倍野区昭和町 2-19-28 青葉グランドビル 402

観光学術学会事務局 大会発表要旨集受付担当 宛

(2) 表題・副題・英文表題・英文副題

表題は、MS ゴシック体太字 17 ポイント (行間 11mm)にする。副題がある場合、MS ゴシック 14 ポイント太字 (行間 11mm)とする。英文表題は MS ゴシック 10 ポイント太字 (行間 5.5mm)とする。英文表題は MS ゴシック 10 ポイント (行間 5.5mm)とする。

(3) 著者名、所属名、ローマ字氏名・所属

著者名、所属名は、MS ゴシック体太字 10 ポイント (行間 5.5mm)とする。ローマ字氏名は、太字にせず、MS ゴシック体 10 ポイント (行間 5.5mm)とする。

(4) キーワード

キーワードは「キーワード:」とし、日本語で 3、4 語ほどを MS ゴシック体 9 ポイント (行間 5.5mm)で記す。英文キーワードは、日本語キーワードの下に「Keywords:」とし、MS ゴシック体 9 ポイント (行間 5.5mm)で記す。

(5) 行数・字数など

全体の分量は 2 ページで、超過はみとめない。1 ページ目は、1 行に 25 文字、27 行とし 2 段とする (文字数に換算すると約 1350 字)。2 ページ目は、1 行に 25 文字、44 行とし 2 段とする (文字数に換算すると約 2200 字)。

章、節、項等のタイトルの文字は、MS ゴシック体太字 9 ポイント (行間 5.5mm)とする。

本文の文字は、MS 明朝体 9 ポイント (行間 5.5mm)とする。

(6) 余白

余白は上 27 ミリ、下 30 ミリ、左右は 20 ミリ、段の間隔は 10 ミリとする。

(7) その他

その他の原稿の書式については、基本的には、学会誌の執筆要項に準拠すること。

章、節、項について

章、節、項は、全角で「I」「1」「(1)」「①」のように番号をふる。「はじめに」や「おわりに」等をつける場合にも、番号をふる。

数字について

本文中の数字は原則として算用数字 (半角) を用い、漢数字は用いないが、どうしても必要な場合には、その限りではない。

注と文献リストについて

「注」と「文献リスト」を別に作成し、本文の最後につける。参照文献を本文、注等で挙げる際は、著者名（発行年： ページ数）、または（著者名 発行年： ページ数）という形式にする。著者名と発行年の間、およびコロンの後には半角スペースを入れる。

本文中の注の番号は、該当箇所の右肩に全角で1)、2)、3)・・・のように打ち、本文の最後に付けた「注」でも1)、2)、3)・・・のように全角片カッコの番号を用いる。

図表について

図表は順に番号を打ち、本文中に挿入しておくこと。著作権者の了解を得ることなく、他者の図版を転用してはならない。

文献リストの書式について

本文の末尾に、文献リストを付ける。文献リストの書式については基本的な原則は以下のとおりとする。

- ・和文文献と欧文文献を一括し、文献を著書名のアルファベット順に並べる。
- ・同じ著者の文献を2点以上あがる場合、2点目以降は著者名の代わりに、4文字分のダッシュ「———」を用いる。
- ・和文文献のサブタイトルの前には、2文字分ダッシュ（——）を付ける。ダッシュの前後にスペースは不要。サブタイトル後に2文字分ダッシュは不要。
- ・書誌情報は原則としてAPA方式に準拠し、以下のように並べる。

【日本語文献】

①単著

著者名（出版年）『タイトル』出版社名

橋本和也（1999）『観光人類学の戦略——文化の売り方・売られ方』世界思想社

②共著

ファーストオーサーの氏名・セカンドオーサー以下の氏名（出版年）『タイトル』出版社名

須藤廣・遠藤英樹（2005）『観光社会学』明石書店

③編著書

編者名編（出版年）『タイトル』出版社名

神田孝治編著（2009）『観光の空間』ナカニシヤ出版

④編著所収論文

著者名（出版年）「論文のタイトル」編者名編『本のタイトル』（pp.論文の初ページ-終ページ）出版社名

安村克己（1996）「観光の不均衡問題とエスニック・ツーリズム運営の“格率”」前田 勇編『現代観光学の展開——観光行動・文化観光・国際観光交流』（pp.45-64）学文社

⑤雑誌論文

著者名（出版年）「論文のタイトル」『雑誌名』巻（号）：論文の初ページ-終ページ

高媛（2001）「記憶産業としてのツーリズム——戦後における日本人の『満洲』観光」『現代思想』29（4）：219-229

⑥政府刊行物など

編集機関名（出版年）『タイトル』発行元

国土交通省観光庁（2011）『観光白書（平成23年版）』日経印刷

【翻訳書】

著者のファミリーネーム、ファーストネーム及びミドルネームのイニシャル。（出版年）.
タイトル, 出版地： 出版社 [訳者名訳（翻訳の出版年）『訳書のタイトル』出版社名]

Baudrillard, J. (1981). *Simulacra and simulation*, Ann Arbor: University of Michigan Press. [竹原あき子訳（1981）『シミュラクルとシミュレーション』法政大学出版局]

【欧文の文献】

①単著

著者のファミリーネーム、ファーストネーム及びミドルネームのイニシャル。（出版年）.
タイトル. 出版地： 出版社.

Illich, I. (1973). *Tools for conviviality*. New York: Harper Colophon.

②共著

ファーストオーサーのファミリーネーム、ファーストネーム及びミドルネームのイニシャル, & セカンドオーサーのファミリーネーム、ファーストネーム及びミドルネームのイニシャル（出版年）. タイトル. 出版地： 出版社.

Urry, J., & Larsen, J. (2011). *The tourist gaze (3rd ed.)*. London: Sage Publication.

③編著書

編者名のファミリーネーム、ファーストネーム及びミドルネームのイニシャル. (Ed.).（出版年）. タイトル. 出版地： 出版社.

Selwyn, T. (Ed.). (1996). *The tourist image: Myths and myth making in tourism*. Chichester: John Wiley & Sons Ltd.

④編著所収論文

著者名ファミリーネーム、ファーストネーム及びミドルネームのイニシャル。（出版年）.
論文のタイトル. In 編者名のファーストネーム及びミドルネームのイニシャル ファミリーネーム (Ed.), タイトル (pp.論文の初ページ-終ページ). 出版地： 出版社.

Ritzer, G., & Liska, A. (1997). 'McDisneyization' and 'post-tourism': Complementary perspectives on contemporary tourism. In C. Rojek and J. Urry (Eds.), *Touring culture* (pp. 96-109). London: Routledge.

⑤雑誌論文

著者名ファミリーネーム、ファーストネーム及びミドルネームのイニシャル。（出版年）.
論文のタイトル. 雑誌名. 巻（号）：論文の初ページ-終ページ.

Wang, N. (1999). Rethinking authenticity in tourism experience. *Annals of Tourism Research*. 26(2): 349-70.

【ホームページ等の電子メディア情報】

著者名（公表年または最新の更新年）「当該情報のタイトル」最終閲覧年月日, URL
(例)

厚生労働省（2002）「サービス供給における契約について」最終閲覧日 2002 年 5 月 12 日,
<http://www.mhlw.go.jp/general/seido/syakai/sienhi/jimu05.html>

U.K. Department for Culture, Media and Sport. (2011). *Government tourism policy*. London:
Author. Retrieved March 1, 2012, from http://www.culture.gov.uk/images/publications/Government2_Tourism_Policy_2011.pdf

Smale, W. (2011, November 28). Brazil prepares for major tourism boost. *BBC News*. Retrieved
March 1, 2012, from <http://www.bbc.co.uk/news/business-15824562>